

2025MBA サマースクール

HBMS(県立広島大学大学院経営管理研究科)は、2016年4月、広島に開設した、実践的な経営・マネジメントの知識・スキルを体系的に学べる社会人のためのビジネススクールです。
2025MBAサマースクールでは、「マーケティング」、「中小企業経営戦略」、「サプライチェーン」、「イノベーション」の4分野の講座を開講します。1講座以上受講された方には受講証明書を発行します。
全国からのご参加をお待ちしています！

- ✓ 社会人の方
- ✓ 学び直し(リスキリング)に興味がある方
- ✓ 経営・起業に興味関心がある大学生・大学院生

参加費無料 | 定員 100 名

8.2

SAT
9:00 - 16:00

オンラインZoom開催
[要事前申込・事前登録]

9:00～9:20 オリエンテーション

9:20～10:40

爆速でブランド価値を 向上させるための理論と方法

～ニューロマーケティングの視点から考える
地域中小企業のための
ブランド・マネジメント戦略へのヒント～

流通科学大学商学部 教授 /
県立広島大学経営管理研究科 SMOフロンティア研究所客員研究員

綿貫 真也

開催されている大阪・関西万博のフランス館が大人気です。フランスには、ルイ・ヴィトンなど高いブランド価値を有する企業が数多く存在します。ルイ・ヴィトンのブランド価値はトヨタの2倍以上なのです。高いブランド価値を築くためには、長い時間、多額の資金、そして有能な人材というビジネスリソースが必要です。地域中小企業では、そうしたリソースが潤沢とは言い難いのが実情です。では、地域中小企業では、高いブランド価値を創造することは不可能なのでしょうか？地域中小企業が、スピーディーかつ高コストで、高ブランド価値を築くためのヒントを最新のニューロマーケティング研究から考えていきたいと思います。

10:50～12:10

中小企業の 持続的な発展と地方創生！

県立広島大学大学院経営管理研究科 准教授 中村 嘉雄

「大廃業時代」と言われる中、地域の中小企業が持続的に発展することはとても重要です。戦後、高度成長の時代に中小企業は急増しましたが、その後バブル崩壊やリーマン・ショック等で減少しました。さらに新型コロナウィルス、円安、原材料の高騰等の影響を受け減少するのではないかと想定されています。一方、日本の中小企業の割合は、99.7%と多数を占めています。本セミナーでは、業績向上や事業承継を円滑に進める戦略を皆さんと共に考えます。また、日本においては人口減少局面で少子・高齢化が進み、特に地方でその動きが加速化しています。地方分権が進まない中、中小企業の発展により雇用が創出され、地方創生が実現できるのかを考えます。

12:10～13:00 休憩

13:00～14:20

ビジネスの最前線を見てきた当事者が語る 「商品開発のプロポジションと 勝つ仕組み作り」

県立広島大学大学院経営管理研究科 教授 毛利 信作

1 商品開発に於けるプロポジション

A) コンビニ大ヒットスイーツの開発秘話とプロポジション

ーイノベーションとは、既存の商品の思ってもみなかった新しい組み合わせ＝「新結合」ー

B) コンビニのいれたてコーヒーのプロポジションと、その仕組みづくり

C) サラダクラブの飛躍とプロポジション ーカット野菜からパッケージサラダへー

D) プロポジション変更で天国から地獄へ

ー豪州でクッキー・クラッカーからスナック売場へー

2 勝つ仕組み作り

A) AppleスティーブジョブズとAmazonジェフベゾスがもたらした仕組みの大逆転

B) 中小企業にマーケティングの扉を開いたクラウドファンディングの仕組み

C) アメリカ NONNIE's社の「勝つ仕組み」を学ぶ

14:30～15:50

さよならイノベーション： 広島県民所得を全国5位にしよう

県立広島大学大学院経営管理研究科長 米倉 誠一郎

人口に膾炙した「イノベーション」という言葉ですが、重要なことが忘れられています。それはイノベーションは手段であって目的ではないことです。いま重要なことは明確な目的を設定し、一人ひとりが高い生産性と高い所得を達成することです。古臭いことを言っているように感じるかもしれませんが、しかしそう簡単なことではありません。本講義ではそのための高い想像力と創造力について語ります。

お申し込みはこちらから

右のQRコードを読み取り、HBMSのサマースクールのページにアクセスの上、
申込フォームよりお申し込みください。 申込締切: 令和7年8月1日(金) 13:00

